



学校通信

令和2年7月1日
東京都立葛飾盲学校長
田島 忍
(第3号)

校舎に響く元気な声

教務主任 後藤 美由紀

6月に入り、学部ごとの分散登校が始まりました。臨時休校中だった先月までとは違い、校舎内に子供たちの元気な声が響きました。久しぶりに登校してきた子供たちは、始めは不安そうでしたが、友達や担任の先生と会い、挨拶を交わすと、ぱっと表情が明るくなりました。今まで会えなかった分、たくさん話をしたいところですが、そこはぐっと我慢して、ソーシャルディスタンスを意識しながら、教室に向かっていきました。

幼稚部に3名、小学部に3名、そして中学部に5名の新しい友達を迎え、ようやく動き始めた葛飾盲学校の令和2年度。少人数に縮小されたグループ活動、対面しない座席配置での静かな給食と、まだ、いつも通りの生活はできていませんが、少しずつ日常を取り戻しつつあります。

先日、学部ごとに「新生を迎える会（自己紹介の会）」が開かれました。新しい友達に、自分のことや学校のことを知ってもらいたい、仲良くなりたいという気持ちを込めて、相手の印象に残るような自己紹介を考えて発表していました。新生も、緊張した面持ちでちょっと恥ずかしそうにしながらも、一生懸命挨拶をしていました。中学部の歓迎会では、入学式でできなかった「歓迎の言葉」や「新生の言葉」を、それぞれ代表生徒が堂々と発表していました。2か月遅れという形になってしまいましたが、新生を迎え入れたいという子供たちの気持ちあふれる温かな雰囲気での会でした。触れ合う機会が少ない中で、お互いのことを知る良い機会になりました。

新型コロナウイルス拡散防止対策のため、子供たちが楽しみにしていた運動会や移動教室など、できなくなってしまった行事や活動がたくさんあります。また、できなかった勉強はどうなるんだろうと不安に思うところもあることでしょう。感染防止対策を行いながら、子供たちが前向きな気持ちで楽しく学校生活を送れるように、学習内容を検討し、時間を確保しながら、例年とは違う新しいやり方で、思い出に残る楽しい取組を考えていきたいと思っております。

今後の取組において、いまだ実施や時期等がはっきり定まらないものもあり、御迷惑をおかけしています。詳細が決まりましたら、早急にお知らせいたします。御理解、御協力のほど、よろしく願いいたします。